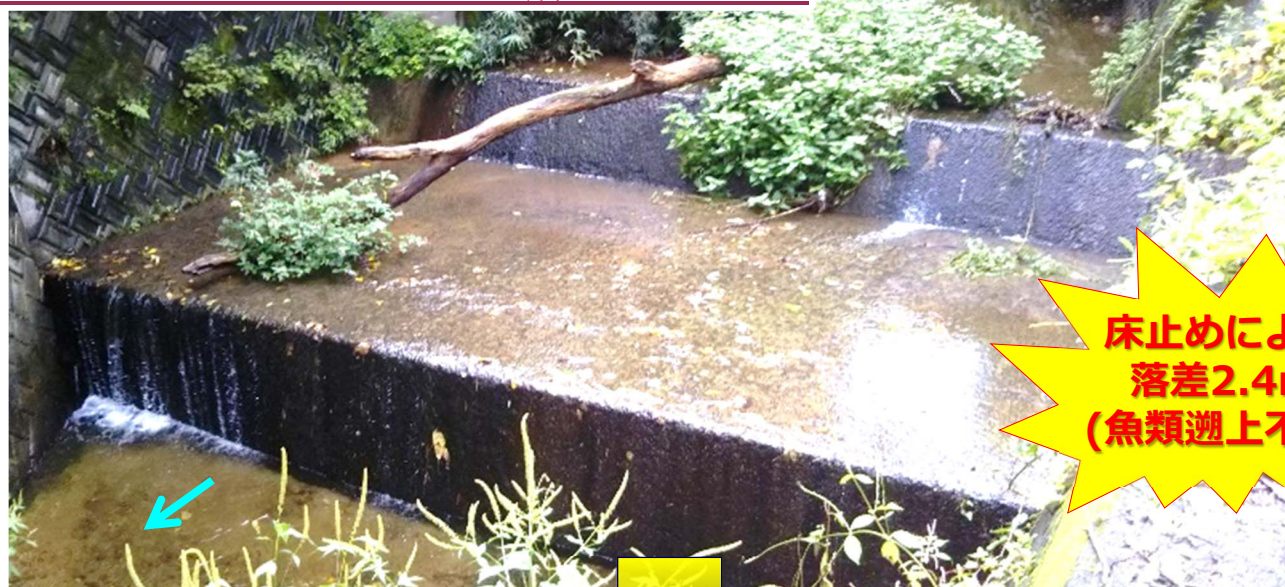


竜の口溪谷における 多自然川づくり(魚道整備等)の取組み

Keywords : 低コスト型切欠き魚道, 順応的維持管理、成果還元

Before 魚道整備前の状況 R1.9.4



床止めによる
落差2.4m
(魚類遡上不可)

After 魚道整備11か月後 R2.10.28



【整備効果】
床止上流で新魚種
の定着・生息を確認！

ヨシノボリ類

低コスト型切欠き魚道の整備、
下流へのカゴエの設置により、
魚類遡上環境を創出！

課題 : 竜の口溪谷と広瀬川の間床止めにより水域連続性が未確立

解決策 : 魚類遡上環境の創出を目的に、低コスト型切欠き魚道の整備

成果 : 床止め上流で新魚種(ヨシノボリ類)の定着・生息を確認

工夫点 : ①低コスト型切欠き魚道(土研「重点普及技術」に選出)
②順応的維持管理(市民団体と連携した維持管理、覚書交換)
③成果の還元(市民向けWS開催、内外への積極的情報発信)